

2023年2月期 通期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2023年4月21日



連結業績の概要

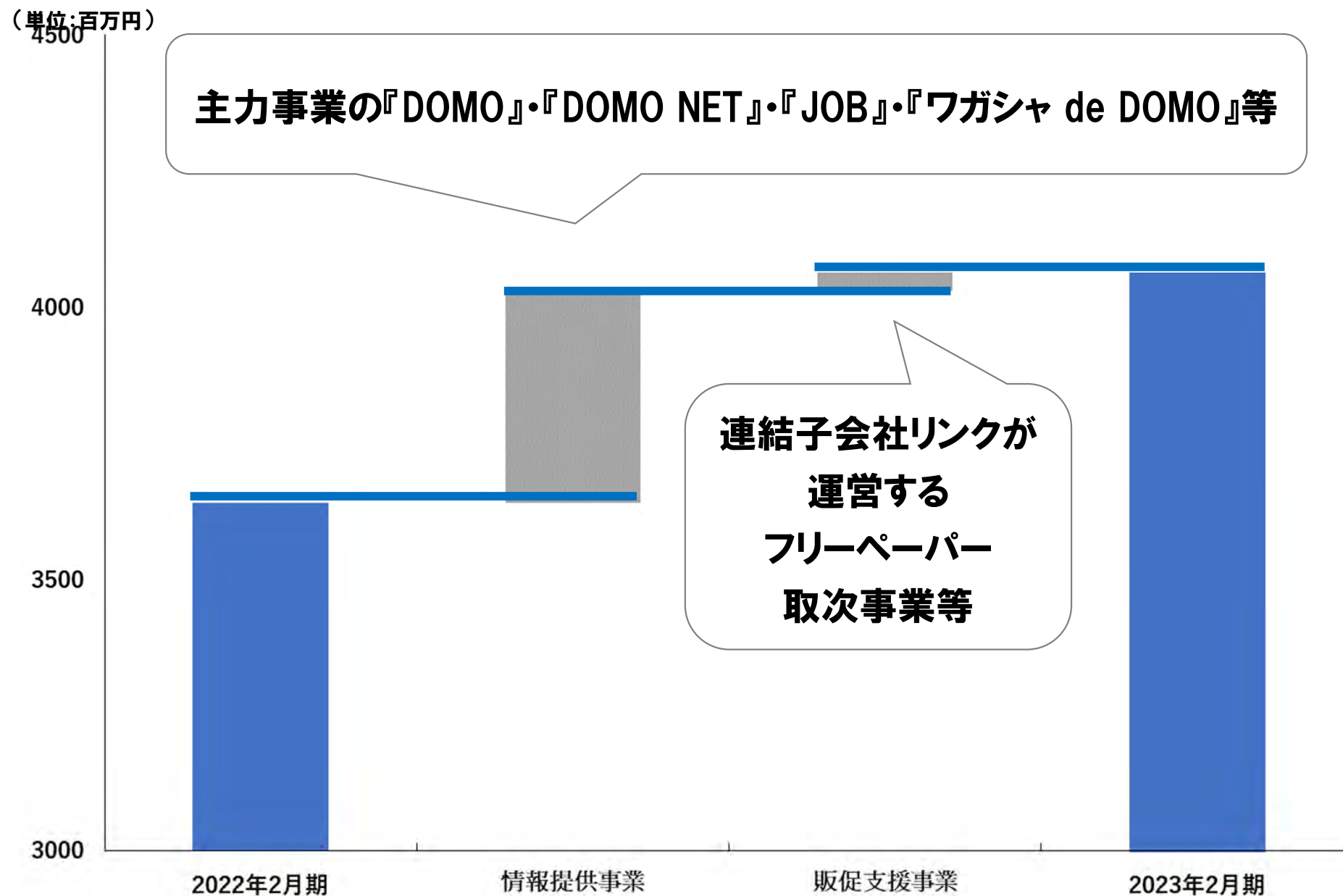
2022年3月1日～2023年2月28日



通期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2023年2月期		2022年2月期		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		4,044	100.0	3,622	100.0	421	11.6
売上原価		1,192	29.5	1,141	31.5	51	4.5
	印刷費	258	6.4	267	7.4	△8	△3.3
	労務費	95	2.4	125	3.5	△30	△24.0
	その他売上原価	838	20.7	747	20.6	90	12.1
売上総利益		2,851	70.5	2,481	68.5	370	14.9
販管費		2,796	69.2	2,481	68.5	315	12.7
	人件費	1,661	41.1	1,488	41.1	172	11.6
	広告・販促費	516	12.8	424	11.7	92	21.7
	流通費	80	2.0	81	2.2	△0	△1.1
	その他販管費	538	13.3	486	13.4	51	10.7
営業利益		54	1.4	0	0.0	54	—
経常利益		67	1.7	12	0.3	55	444.8
税金等調整前		40	1.0	12	0.3	28	228.2
親会社株主に帰属する 当期純利益		44	1.1	39	1.1	4	10.5
EPS		¥1.70		¥1.51			

セグメント別売上高(内部取引消去前)



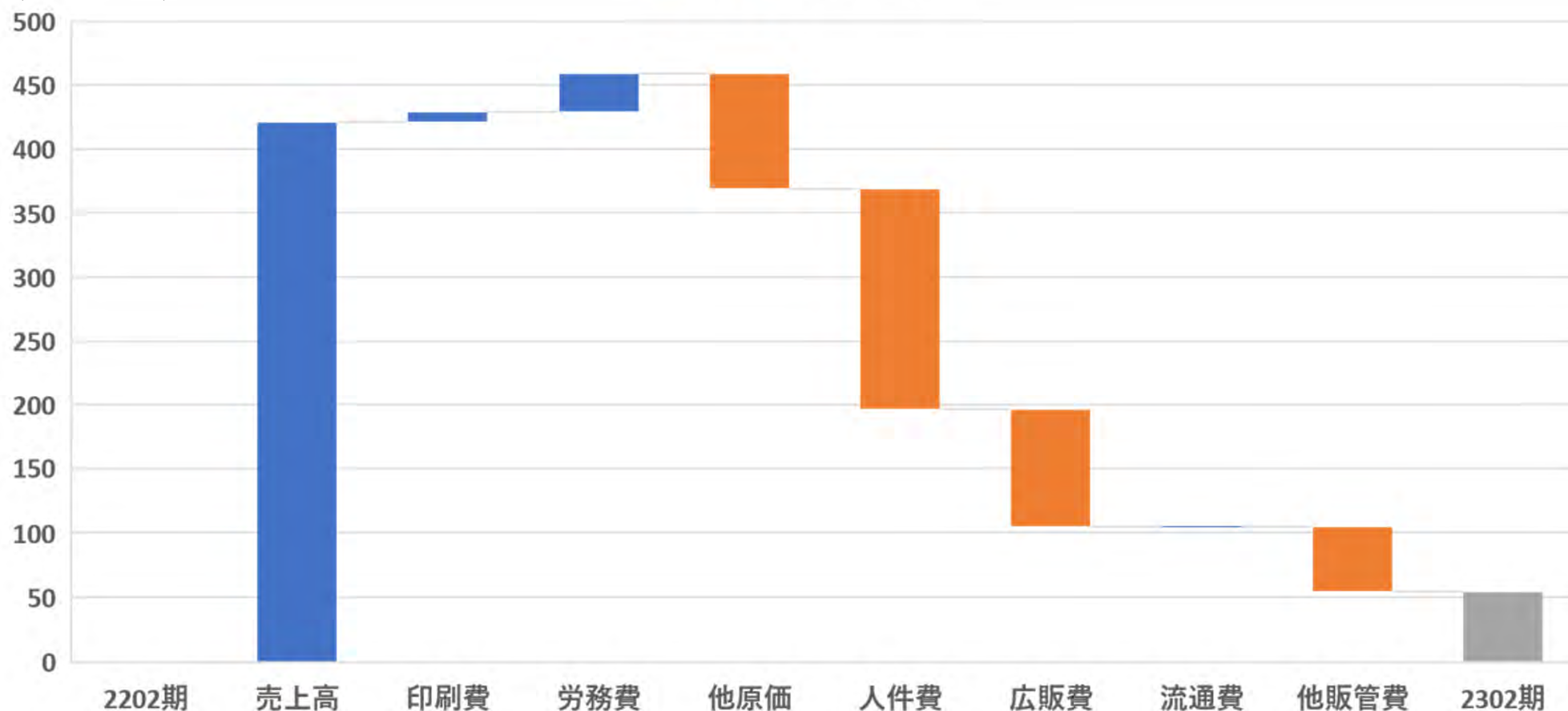
営業利益の増減要因

人件費、広告販促費投資も営業利益54百万円確保

営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(単位:百万円)



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2023年2月末		2022年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,562	74.1	3,877	77.5	△315	△8.1
	固定資産	1,247	25.9	1,125	22.5	121	10.8
	資産合計	4,809	100.0	5,003	100.0	△193	△3.9
	流動負債	588	12.2	626	12.5	△38	△6.1
	固定負債	7	0.2	11	0.2	△3	△33.0
	負債合計	596	12.4	638	12.8	△42	△6.6
	資本金	455	9.5	455	9.1	—	—
	資本剰余金	538	11.2	526	10.5	11	2.3
	利益剰余金	4,252	88.4	4,439	88.7	△187	△4.2
	自己株式	△1,034	△21.5	△1,062	△21.2	28	—
	株主資本	4,212	87.6	4,360	87.1	△147	△3.4
	その他包括利益累計額	0	0.0	4	0.1	△4	△90.0
	純資産	4,212	87.6	4,364	87.2	△151	△3.5
負債・純資産合計		4,809	100.0	5,003	100.0	△193	△3.9
BPS		¥163.96		¥165.36			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2023年2月期	2022年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	23	123	△100
投資活動CF	△206	△209	3
財務活動CF	△185	△4	△180
換算差額	6	△0	6
増減額	△362	△91	△270
期首残高	3,396	3,488	
期末残高	3,034	3,396	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純利益が40百万円、減価償却費が32百万円となった一方で、未払消費税等の減少額が36百万円、売上債権の増加額が21百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が170百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

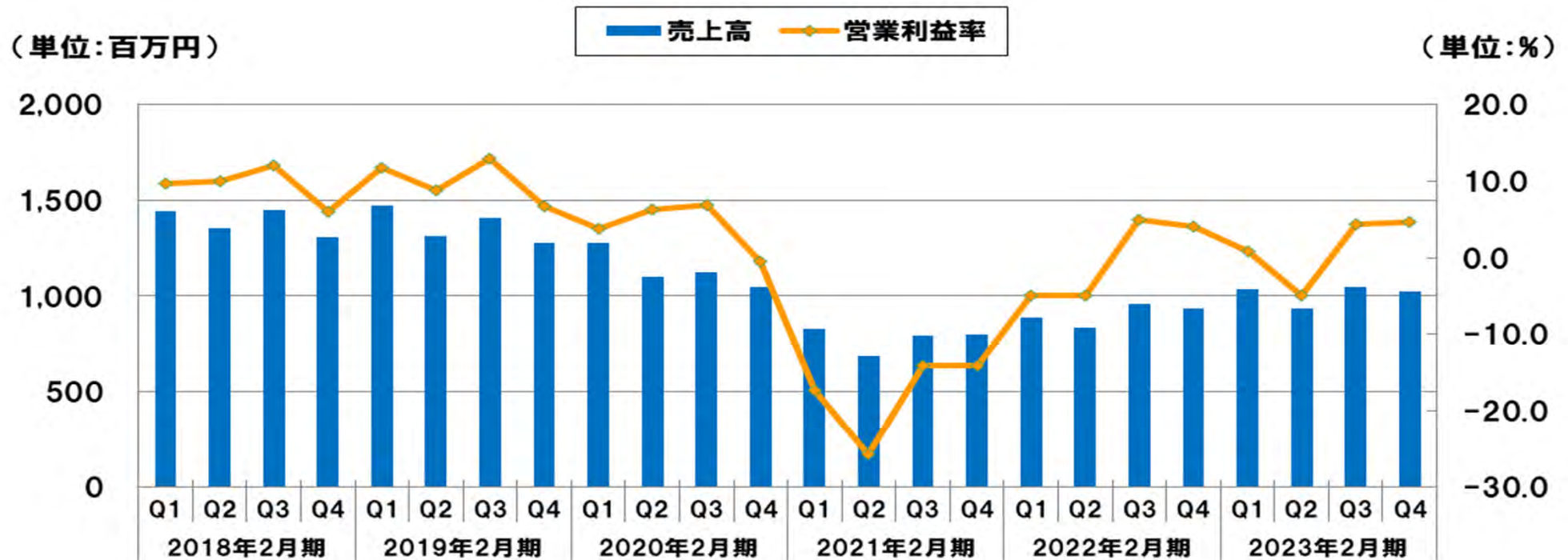
- ◆ 主に、自己株式の取得による支出が98百万円、配当金の支払い額が80百万円等となったためです。

当期の総括

2022年3月1日～2023年2月28日



経営環境と業績推移

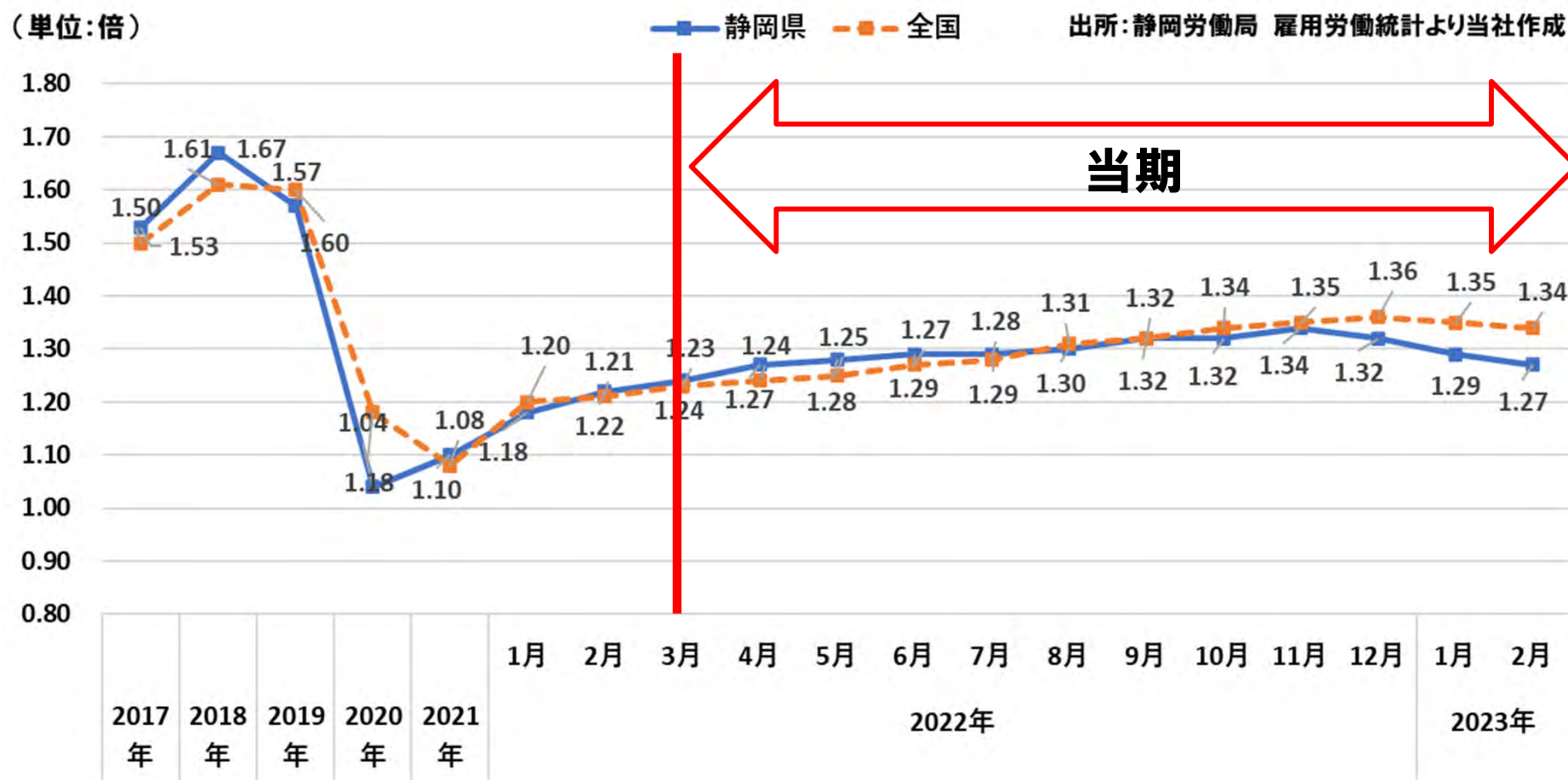


➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。直近はコロナ感染症拡大による影響により採用環境が悪化。コスト圧縮を図るも売上の減少幅が大きく営業赤字を計上。前期は売上の回復により黒字回復。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大により雇用環境が悪化から回復基調にある状況下、採用管理システム『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力いたしました。また、非接触型のインサイドセールスへの転換や多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、新型コロナウイルス感染症拡大時は投資を控えていましたが、当社の再成長に向けた販売力、商品力の強化を拡販と同時に推進した結果、2023年2月期は継続黒字を維持しております。

新型コロナウイルス感染症拡大から雇用環境は回復基調にはあるものの停滞

有効求人倍率推移



重点施策

成長に向けた投資の実施

- 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【コスト投資】

	2023年2月期	2022年2月期	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	コスト投資(百万円)
人件費	1,661	1,488	172
広告販促費	516	424	92
計	2,178	1,913	264

【固定資産投資】

投資案件	金額 (百万円)
新販売管理導入関連投資 ※ソフト仮勘定含む	97
WD・CS関連投資等	47
投資計	144

【新規事業投資】

投資案件	金額 (百万円)
人材教育関連	101
生活支援関連	50
人材マッチング関連	27
投資計	178

重点施策

「ワガシャ de DOMO」の拡販による売上増
連結売上高11.6%増を牽引

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

- 利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

(内部消去取引前)

売上高15億円、前期比26%増
当社グループ売上高構成比38%に拡大

次期の方針、連結業績予想

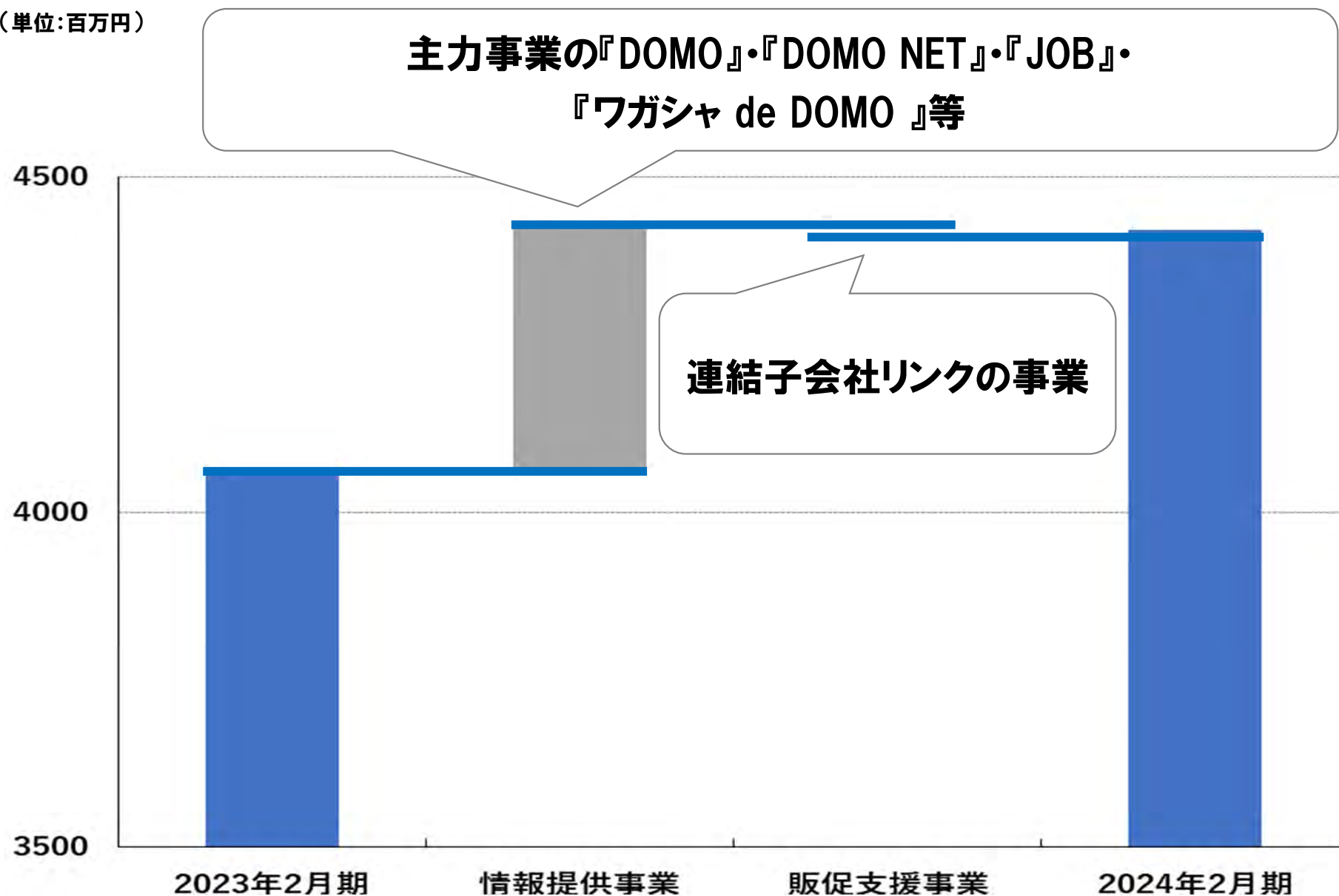
2023年3月1日～2024年2月29日

業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2024年2月期		2023年2月期		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		4,401	100.0	4,044	100.0	356	8.8
売上原価		1,269	28.8	1,192	29.5	76	6.5
	印刷費	310	7.1	258	6.4	51	19.9
	労務費	104	2.4	95	2.4	9	9.6
	その他売上原価	854	19.4	838	20.7	16	1.9
売上総利益		3,131	71.2	2,851	70.5	279	9.8
販管費		3,061	69.6	2,796	69.2	264	9.5
	人件費	1,754	39.9	1,661	41.1	92	5.6
	広告・販促費	645	14.7	516	12.8	128	24.9
	流通費	89	2.0	80	2.0	9	11.6
	その他販管費	572	13.0	538	13.3	34	6.3
営業利益		70	1.6	54	1.4	15	27.5
経常利益		72	1.6	67	1.7	4	6.6
税金等調整前		74	1.7	40	1.0	34	83.3
親会社株主に帰属する当期純利益		67	1.5	44	1.1	23	53.7
EPS		¥2.71		¥1.70			

セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



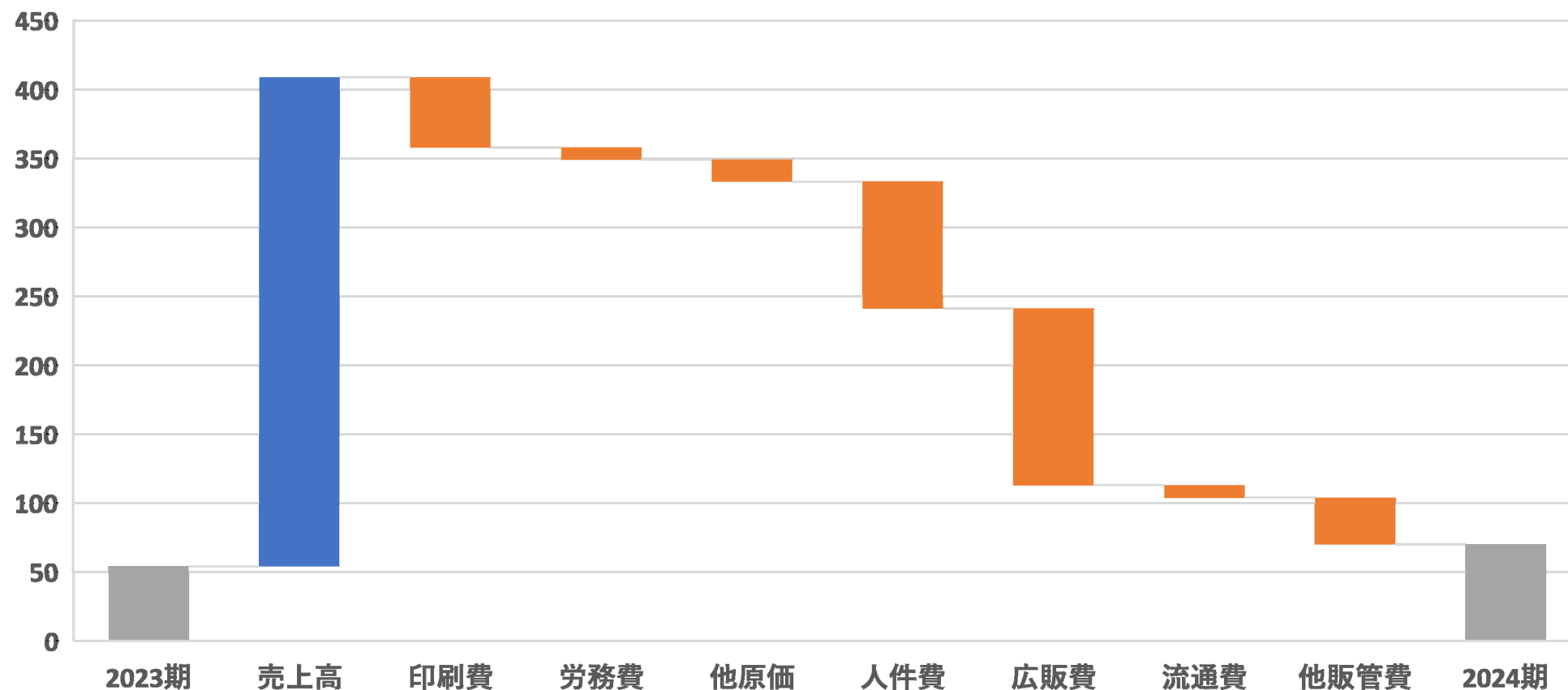
売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費投入も黒字継続

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



成長に向けた投資の継続

➤ 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)の継続

【コスト投資】

	2024年2月期	2023年2月期	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	コスト投資(百万円)
人件費	1,754	1,661	92
広告販促費	645	516	128
減価償却費	71	32	38
計	2,466	2,210	259

【固定資産投資】

投資案件	金額 (百万円)
新販売管理導入関連投資 ※減価償却対象資産	440
WEB・CS関連投資	29
投資計	470

【新規事業投資】

投資案件	金額 (百万円)
人材教育関連	112
投資計	112

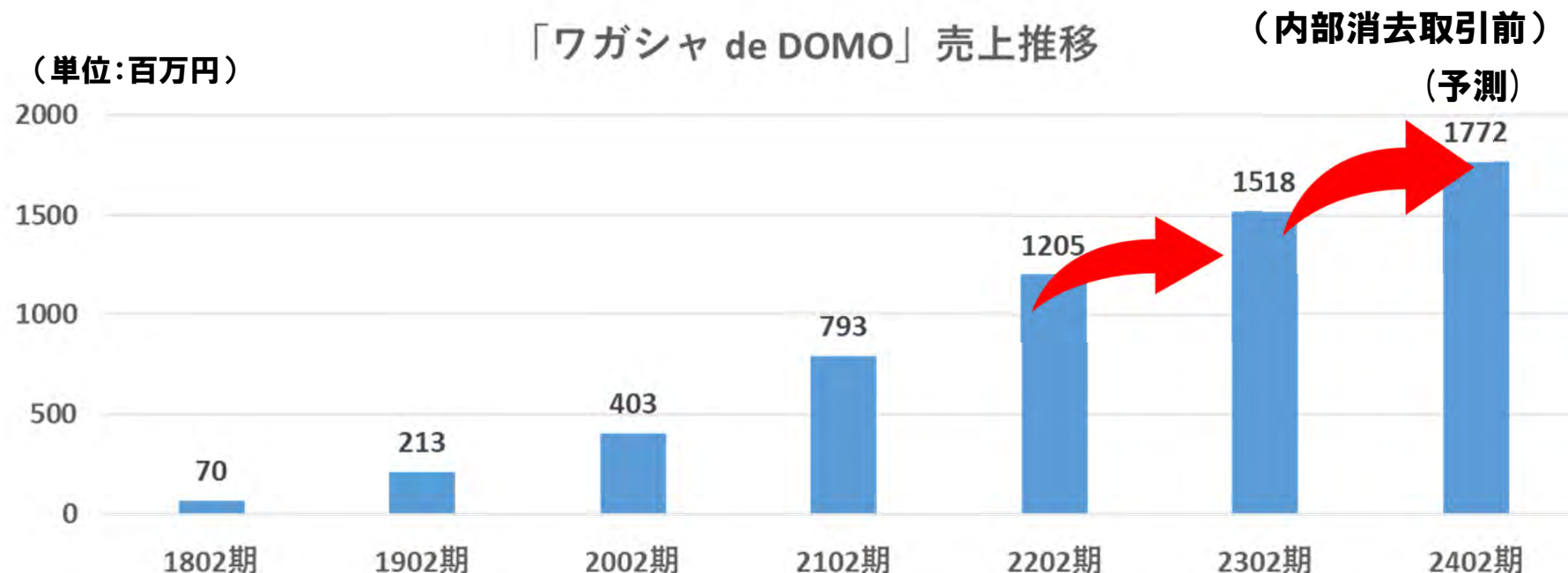
重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販施策の継続

- 利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)



株主還元

当期及び次期は1株当たり3円の配当とさせていただきます。
株主還元として2023年4月～6月に自己株式取得、7月に消却を行います。



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2021年2月期においては、大幅な赤字転落したことを踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。2022年2月期は黒字転換を達成し、復配することことができ、2023年2月期につきましては、1株当たり3円の期末配当を予定しており、次期につきましても当期同額の1株当たり3円の期末配当を実施する方針といたしました。

自己株式の取得及び消却について

➤ 自己株式の取得及び消却を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得する株式の総数 700,000株(上限)
 - ・ (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 2.72%)
- ◆ 株式の取得価額の総額 100百万円(上限)
- ◆ 取得する期間 2023年4月14日～2023年6月30日
- ◆ 取得方法 東京証券取引所における市場買付

➤ 消却の内容

- ◆ 消却する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 消却する株式の総数 700,000株
- ◆ 消却予定日 2023年7月14日

➤ 参考(2023年3月31日時点の自己株式の保有)

- ◆ 発行済株式総数(自己株式を除く) 25,693,182株
- ◆ 自己株式数 5,844,067株

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部 管理部 経営企画課

E-MAIL: ir@atimes.co.jp

HP: <https://www.atimes.co.jp>